

記 録

第一回九州保育大會記録（抄）

九州保育連合會結成後第一回の九州保育大會は豫定通り三月二十七日から鹿児島市山下町縣立圖書館の三階大講堂で開かれた。

なお三月二十六日（大會の前夜）には九州各縣代表者協議會を國際ホテルで開いた。

大會には全九州各縣から参加三百餘名、さしにも廣い大講堂もギッシリであつた。

第一日 三月二十七日（日）

定刻（午前十時）鹿児島縣保育連合會副會長で師範教授の附屬幼稚園主事山下靜雄氏の開會の辭があり、續いて九州保育連合會長大野柔忍氏と地元の鹿児島縣保育連合會長で（鹿児島縣教育委員長）の平安山長義氏の挨拶があり、次いで祝辭にうつり文部大臣（總務部長代讀）厚生大臣（民生部長代讀）鹿児島縣知事、鹿児島市長、鹿児島教育委員會、全國保育連合會長、全日本保育連盟理事長を終り、福岡縣知事、宮崎縣知事其他各方面の祝電披露があつた。

岡田九運事務局長の經過報告があつて議事に入り、議長に鹿児島市社會課兒童係長古野勝見氏、副議長に事務局長岡田

榮資氏選ばれ、「第四回全國保育大會を九州地區で開催方要望のあつたときは如何にすべきか」等上提、九州保育連合會副會長（熊本縣保育連盟會長）高森豐氏の一昨年、及昨年の大會での空氣の説明あり、其他の議案を議了して記念講演にうつり鹿児島縣立圖書館長「椋鳩十」久保田彦穗氏の鹿児島が生んだ日本産業の恩人故前田正名に關する興趣深い講演があつた。

午後は我が國童話界の元老久留島武彦氏の特別講演に満堂魅了された。

閉式に先立ち参加者全員を代表して大分縣保育會副會長天門成章氏から主催者に對して懇篤な謝辭あり、之に對し九州保育連合會長大野柔忍氏の答辭があつた。古野勝見氏の閉會の辭によつて第一日は意義深く終了した。

同夜國際ホテル大廣間では各縣有志の懇談會が開かれ八十餘名出席盛會であつた。

第二日 三月二十八日（月）

今日から講習會にうつり、午前中は東京女高師及川フミ教官の「新保育の實際と製作」午後は同じく東京女高師附屬幼稚園の吉田トミ先生の「リズム指導」が行われた。

第三日 三月二十九日（火）

第二日と同様で全受講者の熱心さには涙ぐましいものがあつた。

第四日 三月三十日（木）

第二、三兩日と同じ日程の上に、本日午前十時から軍政

部のミス・キング女史の特別講演が行われ一同感銘を深くした。

本日午前中、鹿児島市観光係の好意で県外参加の有志は櫻島を探勝したが、第二日（三月二十八日）の會後同様鹿児島市城山はじめ市内の名勝を遊覧バスで案内して頂いたことは遠來者の終生忘れ得ない一夢と詩の國「鹿児島」の想出となつたことであらう。

之を要するに、終戦後初の大會であり、全九州各地から保育道に志すものが一堂に會して話し合ひ研究し合つたことだけでも大いに意義があつた、來年の全國大會がもし九州地區での開催となつたら、この大會は受入態勢整備のための大きな階段ともなつたと思う。

なお特筆すべきはこの大會の開催にあたりフレール館、昭和出版、チャイルドブック、廣島圖書等の業者各位が絶大な援助をして頂いたことで大會成功は一にその好意によるものと關係者一同は感謝感激していることを申添へておかねばならない。

鹿児島地區の方々には四月一日まで特別の講習會が續けられた。

第二回關東保育協議大會

若葉の候、神奈川県箱根湯本三味荘に於て第二回大會が開催された。好シーズンのはなはだ混雑したにもかゝらず澤山の參會者があり、三味荘の大集會場も満員の盛

會であつた。休日つゞきにあたり、遠足、遊山客が多く、登山電車も中止された爲、遠い路を徒歩で來られた熱心な會員もあつた。

第二回關東保育協議大會次第

昭和二十四年四月二十八日

第一部

- 一、開會之辭 塚（準備委員長）
- 一、挨拶
- 一、議長選舉
- 一、經過報告
- 一、祝辭
- 一、協議

協議題

- 1、全國保育強調週間設定について
- 2、保育資材と給食資材の確保について
 - 1、幼兒教育者の厚生施設建設の件 千葉縣
 - 2、幼稚園教諭・保育所保母不足に對する對策如何 埼玉・茨城縣
- 1、施設配置分布に關する件 東京都保育連合會
- 一、會計報告
- 一、閉會之辭

（一九頁へつゞく）